

来年に向けた水田雑草対策！

ラウンドアップマックスロード水田刈跡処理

こんな方に
オススメ！！

- 多年生雑草（オモダカ、クログワイ等）の防除にお困りの方
- 雑草の密度が高く、田植え後の除草剤では雑草を抑えきれない方

水田刈跡にラウンドアップマックスロードで雑草処理をおこない、稲刈り後に発生する雑草を枯らすことで、来年の発生を確実に減らします。



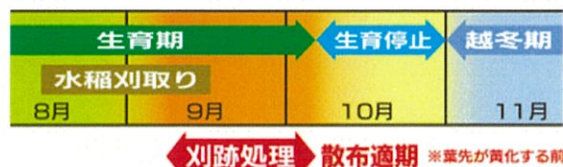
メーカーHPより 試験草種：クログワイ

塊茎が枯れ、
再発を抑制！

■刈跡散布方法（クログワイ対策の例）



■散布適期



■登録内容

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサート を含む農薬の 総使用回数
				薬量(ml)	希釈水量(l)			
水田作物 (水田刈跡)	水田 刈跡	一年生雑草	雑草生育期	200～500	通常散布 50～100ℓ/10a 少量散布 5～50ℓ/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
		多年生雑草		500～1000				

少量散布はコチラから！



ラウンドアップマックスロード

アグリ革命アクアとの混用もおすすめ！



20L、2Lは
JA独自規格！



稲わら分解促進材「アグリ革命アクア」とラウンドアップマックスロードは混用散布が可能です。雑草対策と稲わらの腐熟促進が省力的に実施できます！

【使用方法（10aあたり）】
水50Lにラウンドアップマックスロード1Lとアグリ革命アクア100mlを希釈し散布。

水田畦畔、農道管理に「C-DZ作戦」！

こんな方に
オススメ！！

C-DZ作戦 とは？

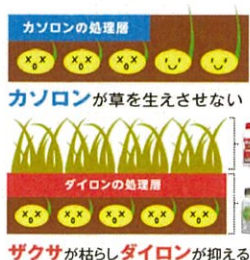
- 雑草が多く、カメムシの被害に困っている方
- 夏場の畦畔除草回数を減らしたい方、コストを抑えたい方

- ・土壌処理除草剤のカソロン粒剤6.7 (Casoron)、ダイロンゾル (Dairon)、非選択性茎葉処理除草剤のザクサ液剤 (Zaxa) を組み合わせた省力畦畔除草体系です。
- ・2回の除草作業で長期間雑草の発生を抑え、年間の除草回数を削減できます。
- ・除草回数の削減により、労力、薬剤費、人件費を抑えます。

春から初夏の雑草を抑える

夏から秋の雑草を枯らして抑える

ホクコー
カソロン
粒剤6.7



ホクコー
ダイロンゾル
ザクサ
液剤



11月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
カソロン粒6.7 散布適期	効果が持続！		ダイロン+ザクサ 散布適期		効果が持続！	

カメムシの増殖地を作いません！

■カソロン粒剤6.7の使い方

- 使用時期 : 秋冬期（降雪のある地域では根雪前）、または春期（雑草発生前～始期）
 使用量 : 1坪あたり約20g（3kg袋で幅1mの畦畔を500m散布できます）
 使用方法 : 均一に散布する（急な斜面での使用は避けてください）
 注意事項 : 次のような場所では使用を避けてください。

- ①野菜等の栽培圃場に隣接している場所や栽培予定地
- ②育苗ハウス、園芸作物用のビニールハウス、温室等の施設内など

■ダイロンゾル+ザクサ液剤の使い方

使用時期 : 6月中旬～7月下旬（雑草が大きくなる前）



使用量及び使用方法：（例）散布量20Lの場合

- ダイロンゾル：50ml（400倍）
- ザクサ液剤：160～200ml（100～125倍）
- ※混用の際にはダイロンゾルを先に入れ、よく攪拌してください。

効果を高めるポイント

- 調合薬液は、面積あたりの使用量をしっかり散布してください。
- 土にも薬液がかかるよう雑草が大きくなる前に散布してください。
- 調合薬液は沈殿しやすいので、時々攪拌してください。作り置きせず、早めに使用してください。

（肥料農薬部 肥料農薬推進課）

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。